

日阪通信

第90期 中間
2018.4.1—2018.9.30

ブレージングプレート式熱交換器(BHE)

BUSINESS REPORT

株主の皆さまへ

この度、第90期事業年度の上半期が終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

当上半期の世界経済は堅調に推移し、国内におきましても継続して緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中の貿易摩擦問題などの懸念材料もあり、先行きは不透明な状況となりました。

このような経済環境の中、プロセスエンジニアリング事業に関しては若干の受注減少がありました。熱交換器事業に関してはメンテナンス及び更新需要が増加し、バルブ事業に関しては用途限定弁が好調で受注が増加するなど、当社グループの受注高は14,279百万円(前年同期比3.5%増)となりました。また、売上高は全てのセグメントで増加し15,278百万円(同16.4%増)となりました。

利益は、事業拡大に向けた人員体制強化に伴い人件費が増加いたしました。増収効果により営業利益は1,165百万円(同49.0%増)となり、経常利益は1,334百万円(同36.0%増)となりました。一方、有価証券に関する特別利益の計上が無くなったことや、大阪府北部地震などに関する災害関連費用を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は807百万円(同36.1%減)となりました。

株主の皆さまには、何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2018年12月 代表取締役社長

竹下好和

セグメント別業績

(※記載金額は、内部取引消去前の金額)

SEGMENT INFO.

熱交換器事業

熱交換器事業は様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行うプレート式熱交換器を製造・販売する事業です。

造船各社の船舶受注量や化学、エネルギー関連の海外大型プラントが低調に推移しているものの、国内化学業界において定期修理に伴うメンテナンス及び更新需要があり、受注高は5,647百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

また、上記の定期修理に加え、プラント案件や船舶向けの受注残、好調な半導体、機械工業関連向け熱交換器の販売量増加から、売上高は5,754百万円（同5.7%増）となりました。

加えて、人件費や原材料価格が上昇いたしましたでしたが、増収効果によりセグメント利益は561百万円（同4.6%増）となりました。



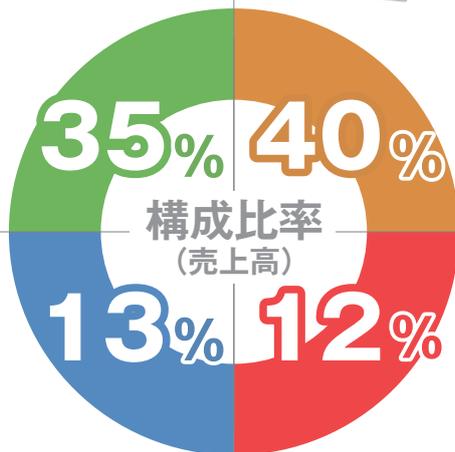
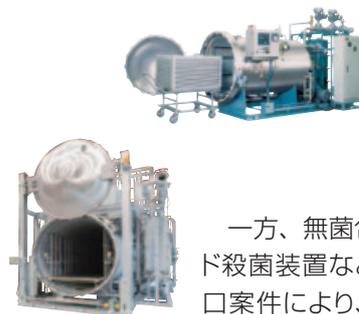
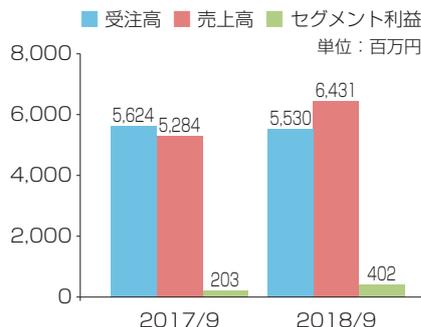
プロセスエンジニアリング事業

プロセスエンジニアリング事業は、レトルト食品などの調理殺菌装置や、医薬品の滅菌装置、繊維製品の染色仕上機器などを製造・販売する事業です。

レトルト殺菌装置の受注が好調に推移いたしました。食品機器、医薬機器、染色仕上機器の大口径案件減少や受注計画の遅れがあり受注高は5,530百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

一方、無菌包装米飯製造設備やペットフード殺菌装置などの大口案件、医薬機器の大口案件により、売上高は6,431百万円（同21.7%増）となりました。

また、人件費などの上昇がありましたが、増収効果によりセグメント利益は402百万円（同97.8%増）となりました。



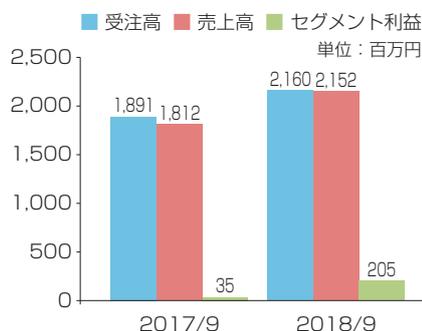
バルブ事業

バルブ事業は、様々な流体の制御に使われるボールバルブなどを製造・販売する事業です。

国内化学業界において定期修理に伴う更新需要があったほか、用途限定弁の販売拡大により、チョコレート製造ライン用のバルブや電気自動車向け二次電池製造ライン用のバルブも増加いたしました。これらの結果、受注高は2,160百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

売上高についても、受注が好調に推移したことから、2,152百万円（同18.7%増）となりました。

また、人件費などのコストアップがありましたが、増収効果により、セグメント利益は205百万円（同476.2%増）となりました。



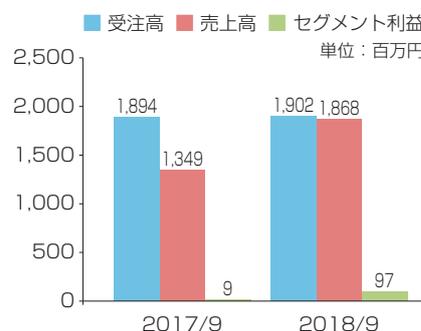
その他事業

その他事業は、国内・海外の子会社による事業と工場の屋上での太陽光発電事業です。

国内子会社では食品機器の大口案件が減少いたしました。マレーシア子会社が化学業界向けや空調用途の熱交換器を受注したほか、今期より連結範囲に含めた旭工業株式会社の受注高が加算されたことから、受注高は1,902百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

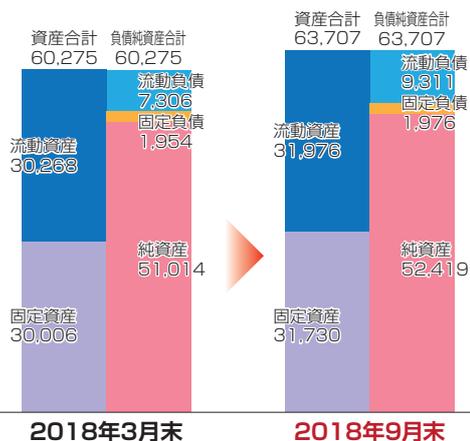
また、中国子会社の食品機器及び前期に受注した国内子会社の大口案件が寄与したことに加え、受注高同様旭工業株式会社の売上高が加算されたことから、売上高は1,868百万円（同38.4%増）となりました。

セグメント利益は増収効果により97百万円（同978.7%増）となりました。



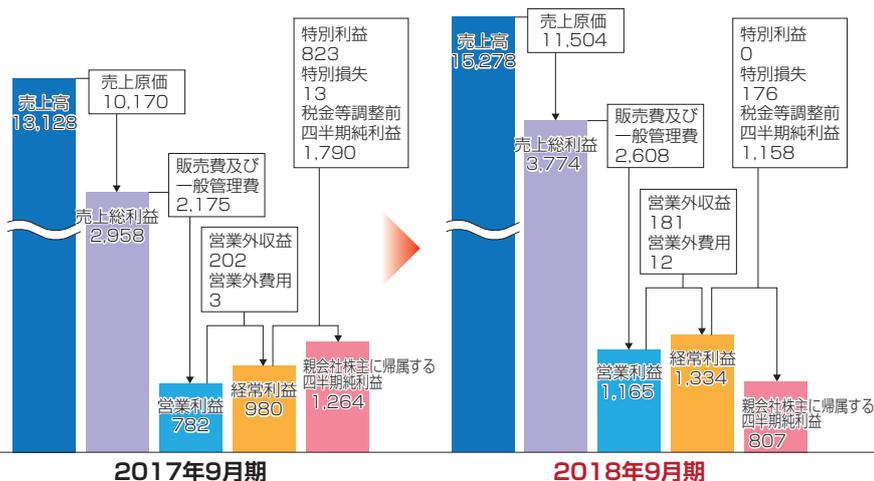
連結貸借対照表の概要

単位：百万円



連結損益計算書の概要

単位：百万円



トピックス

TOPICS



顧客のニーズに応える用途限定弁

バルブ事業では、お客様の用途に合わせた用途限定弁の開発と販売に力を入れています。

製鉄所では、微粉炭(石炭の微粉末)など粉粒体の制御や高低圧アンモニア水の切り替えなど、様々な工程で特殊仕様のボールバルブが使用されています。当社はこれらのニーズに応える商品を開発し、鉄鋼業界向けバルブとして販売しています。現在、鉄鋼業界では活発な設備投資が行われており、これらの販売活動に引き続き注力してまいります。

近年、消費者の健康志向を受けてチョコレートの需要が拡大し、大手菓子メーカーにおいても増産のため設備が増強されています。チョコレートは冷えると固まるため、チョコレート製造ラインで使用するバルブには一定の温度に暖める機能が必要です。当社はこのニーズに対し、バルブを温水で暖めるセミジャケット構造のバルブを開発し、2008年から販売しています。



鉄鋼業界向け
ボールバルブ



チョコレート製造
ライン用バルブ



環境負荷を低減する熱交換器「BRC-013」を開発

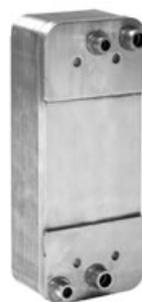
当社が新たに開発した「BRC-013」は、ブレイジングプレート式熱交換器(BHE)と呼ばれるタイプの熱交換器です。BHEは複数枚のプレートを重ね合わせ、ろう付け技術で接合したもので、軽量、コンパクトかつ耐圧性、耐熱性、耐低温性、耐久性、経済性などに優れるという特長を活かし、冷凍機や給湯器、暖房機などに多く使用されています。

当社の開発したBRC-013は、内部のプレート形状を工夫することで、さらに効率の良い熱交換を実現し、小型化に成功しました。この小型化による省資源化と、使用する冷媒(フロン)の充填量削減を通じて環境負荷を低減しました。

当社は今後も熱交換器メーカーとしての技術を活かし、地球環境に優しい商品を開発してまいります。

なお、BRC-013は「熱交換器の小型化で国際競争力を獲得」などの評価を頂き「2018年“超”モノづくり部品大賞 環境・資源・エネルギー関連部品賞」*を受賞しました。

*モノづくり日本会議/日刊工業新聞社 主催



BRC-013の外観(左)と内部のプレート(右)

(参考)

単位：百万円

区分	年度	第88期中間期	第89期中間期	第90期中間期	第88期通期	第89期通期
		(2016年9月期)	(2017年9月期)	(2018年9月期)	(2017年3月期)	(2018年3月期)
受注高		13,224	13,794	14,279	26,594	28,914
売上高		11,756	13,128	15,278	25,023	26,891
営業利益		419	782	1,165	1,161	1,607
経常利益		311	980	1,334	1,374	1,963
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		1,175	1,264	807	2,191	1,927
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		39.39	42.34	27.04	73.42	64.56
総資産		53,531	58,893	63,707	55,616	60,275
純資産		46,637	50,436	52,419	48,254	51,014
1株当たり純資産(円)		1,561.80	1,689.36	1,755.78	1,616.24	1,708.71

(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第90期中間期の期首より適用しており、第89期中間期及び第89期通期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

会社概要 (2018年9月30日現在)

CORPORATE PROFILE

社名 株式会社日阪製作所
 英文社名 HISAKA WORKS, LTD.
 会社設立 1942年5月5日
 資本金 41億5,000万円
 従業員数 連結732名 単体563名
 本社所在地 大阪市北区曽根崎二丁目12番7号
 支店・工場 東京支店(東京都中央区)
 名古屋支店(愛知県名古屋市)
 九州支店(福岡県福岡市)
 北九州支店(福岡県北九州市)
 鴻池事業所(大阪府東大阪市)

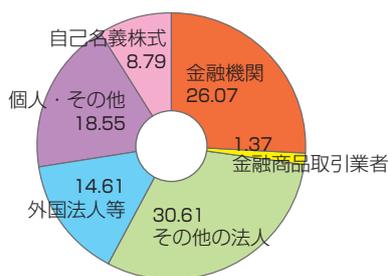
主要な子会社
 マイクロゼロ株式会社(東京都立川市)
 HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. (マレーシア)
 日阪(中国)機械科技有限公司(中国)

役員
 代表取締役会長 前田 雄一
 代表取締役社長 竹下 好和
 専務取締役 中村 淳一
 常務取締役 井上 哲也
 取締役 船越 俊之
 取締役 太田 光治
 取締役 飯塚 正志
 取締役 足立 昭仁
 取締役(社外) 加藤 幸江
 取締役(社外) 下元 光
 常勤監査役 中道 貢
 監査役(社外) 三浦 博文
 監査役(社外) 仲井 晃

株式状況 (2018年9月30日現在)

STOCK INFO.

発行可能株式総数 129,020,000株
 発行済株式総数 32,732,800株
 株主数 2,729名
 所有者別持株比率(%)



大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日新製鋼株式会社	2,903,264株	9.72%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,880,100株	6.29%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,312,500株	4.39%
日本生命保険相互会社	960,770株	3.21%
株式会社三菱UFJ銀行	912,640株	3.05%
因幡電機産業株式会社	910,802株	3.05%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	700,331株	2.34%
株式会社タクマ	642,000株	2.15%
株式会社みずほ銀行	612,640株	2.05%
日阪製作所協力業者持株会	588,886株	1.97%

(注)自己株式(2,877,487株)は除外しております。

株主メモ

SHAREHOLDERS MEMO

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告 公告掲載URL https://www.hisaka.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。